



## 「音読発表会」子どもたちは大変よく頑張りました！

3学期の授業日も残すところ後1日となりました。また、令和4年も残り3週間を切り、時の早さを感じています。保護者の皆様には今年もカンタベリー補習授業校の教育推進にあたり、ご理解ご協力ご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、本校では毎年この時期(12月)に、音読発表会を開催しています。昨年度は残念ながらビデオでの発表でしたが、今年は例年通りに保護者の皆様・来賓の皆様をお招きして開催できたことを嬉しく思っております。私も子どもたちの頑張る姿に大変感動しました！「本校の子どもたちは本当に素晴らしい！」と改めて感じた時間でした。

日本では11月頃、秋の読書月間として様々な取組が行われます。ねらいは、読書月間の取組を通して、いろいろな本に触れ豊かな心を育むと共に、読書意欲の向上を図るというものです。その一つとして、教員による読み聞かせも行われます。私が日本でよく子どもたちに読み聞かせをした本は、いとうひろし作『だいじょうぶ だいじょうぶ』です。この作品は、以前、国語の教科書(東京書籍)に掲載されていたので、ご存じの方もおられると思います。

『小さな「ぼく」が不安な気持ちになると、いつも「だいじょうぶ、だいじょうぶ」と、おまじないの言葉で助けてくれたおじいちゃん。年老いていくおじいちゃんに、今度は「ぼく」がおまじないの言葉をかける番…。』生きていくためのしなやかな強さを育む、心にしみる本です。

「だいじょうぶ」は「大丈夫」と書きます。「丈夫」というのは、もともとは一人前の男子の意味です。そして、それを強調して「大」の字がついて、立派な男子の意味から、非常に強い非常にしっかりしているといった意味へ派生し、間違いない、確かであるという意味でも使われるようになったそうです。

今年も子どもたちは日々の生活の中で、たくさんの「大丈夫」と出会ったと思います。おうちの方からの「大丈夫！」という声もたくさんあったと思います。もちろん学校でも学習中をはじめ、何かにチャレンジする際、不安を感じている子どもたちに、教員は「だいじょうぶ、だいじょうぶ！」という声かけをしています。実はこの「大丈夫」という言葉には教員のたくさんの支援(指導計画・事前準備、子どもたちへの愛情…等)が隠れています。今日はだめでも、来週、次の学期、あるいはずっとずっと先にうまくいくこともあります。その時、子どもたちのとびっきりの笑顔に出会えるから素敵です。そして今度は、その子どもたちの笑顔や元気な姿が、子どもたちから教員への「だいじょうぶ、だいじょうぶ」に変わるのです。

文頭にも書きました音読発表会では、子どもたちの表情にはやり切った気持ちの表れとして、

満面の笑みが浮かんでいるようでした。この子どもたちの素敵な姿の裏には、保護者の皆様、そして教員の「だいじょうぶ、だいじょうぶ！」があったからこそだと思っています。

4学期も、保護者の皆様の「大丈夫！」のご声援を力に運営理事会・教職員一同全力で歩みを進めて参ります。どうぞ皆様、有意義な夏休みと共に、良い年をお迎えください。

来年もきっと良い年になると思います。だいじょうぶ、だいじょうぶ！

**要注意** 補習校内で撮られた写真・ビデオの取り扱いについて(音読発表会等の行事)

補習校内で写真やビデオを撮られますと、ご自身のお子様以外の子どもたちが写っている場合が多くあります。その様な他の個人が特定される写真を使つての SNS 等の利用については、慎重にお願いいたします。やむを得ず利用される場合は

- ・他の子どもが写っていないものを使用する
- ・他の子どもの個人が特定されない処理を施す
- ・個人が特定されない全体の雰囲気分かるものを使用する

以上、個人情報の保護の観点から、くれぐれもよろしくお願いいたします。